

(別添4)

【愛知県安城市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

安城市では1人1台端末を活用し、全ての子どもたちの可能性を引き出す、子どもが主役となる学びの実現を目指します。

これまでの学びあいの蓄積を共有し、一人一人の特性や習熟の程度に応じて、「いつでも」「どこでも」「何度でも」「どんな状況でも」学習できる環境の整備に取り組んでいきます。

2 GIGA第1期の総括

安城市では令和2年度にGIGAスクール構想の実現に向け、タブレットや周辺機器の整備、学習支援及び授業支援ソフトの導入を行いました。

同時に「GIGAスクール推進室」と立ち上げ、タブレット活用に係る現場の支援も行いました。

これにより他校の児童生徒とのかかわりや不登校の児童生徒とオンラインで繋がることができ、誰一人取り残さない、協働的かつ個別最適な学びの実現に近づけました。

授業の中で、教師は、タブレットの中で児童生徒の学習状況を把握し、つまずきへのフォローや少数意見の抽出など、これまで以上に個別の対応ができるようになりました。また、タブレットを導入することで、かかわりが減ってしまうのではないかという懸念もありましたが、共同学習や共同編集をする活動を通して、かかわり合う場面はこれまでと同様に担保されています。また、分からないことをすぐに調べたり、学びの足跡を蓄積したりすることが容易になりました。

端末については持ち帰り学習を実施していますが、情報機器の家庭での正しい使い方ができるよう、安城市独自の教材として「GIGAワークブック」を作成、公表することで情報モラル向上に努めています。

3 1人1台端末の利活用方策

ICT支援員の配置を継続し、サポートかつ研修会の実施等により教員のICT活用スキルを高め、タブレットの日常活用を推進します。

児童生徒の心の健康観察や個別教育相談が行えるソフトウェアの導入や、より良い学習支援ソフトの再選定を行い、子どもの成長を促進する文房具として活用できるよう端末整備に取り組みます。